

令和元年度 環境委員会 事業報告

事業名等	実施内容	総括
ごみ収集対策事業	①集積所の管理運営（通年、地区内 50 箇所） ②ごみ出しの指導（随時）	不分別により集積所に残されるごみ袋を排出者に返却、指導、またはボランティア袋を使用して片付けるなど、環境委員が率先して行っている。不分別ごみが多く排出される集積所には注意喚起の張り紙を設置するなどして啓発活動をしている。環境委員の指導により改善に向かっている場所もあれば、他地区からのごみ出しにより悩まされている場所もある。状況に応じた対応をしている。
	③ごみの組成調査（6月7日） 場所：グリーンバレー千代 参加人数：7名 埋立ごみの組成調査を実施 【調査結果】 埋立ごみ ⇒実施した9地区中、2位	家庭から排出されるごみの分別状況を確認し、ごみの適正処理の啓発を進めるために、毎年環境課が主となり開催している。当日の朝、竜丘地区内に排出された埋立ごみ10袋を無作為にピックアップし、その中身をあけて、正しく分別されているかを調査した。昨年は20地区中19位という残念な結果だったが、今年は実施済みの地区の中で2位という好成績であった。割れたガラスびんやセトモノ、混合物など、適正に分別がされているものが多かった。 分別方法を多くの方に指導し、意識と知識の向上を促して正しい分別でのごみ出しに協力してもらえるよう、今後の指導も丁寧に根気良く続けていきたい。
リサイクルステーション運営事業	①リサイクルステーションの運営（地区内5箇所×年6回）	桐林区で実施するリサイクルステーションにおいて、駐車場の誘導に苦慮していたことから、案内看板を購入した。開催日の前日からビン等を排出されることがあり、開催時間やルール厳守の周知が課題である。
	②ごみ出しの指導（随時）	リサイクルステーション利用者に対し、ルールを守って持ち込んでもらえるよう、分別で間違いやすい点などを指導している。指導する回数も減少し、それぞれの家庭でのリサイクルへの意識の高さを感じている。ビンやペットボトルはきれいに洗浄され、ラベルもキャップもはずして持ち込まれており、排出方法が徹底されてきている。
環境美化事業	①春のごみゼロ運動（5月26日） 参加者1,148名：昨年度より72名増内、高校生以下の子供の参加者76名	例年、参加者が減少傾向にあったが、子どもの参加人数も含めて春も秋も増加している。これを機会に継続的に住民全体で活動していきたい。特に、子ども達が小さいころからこのような地域活動に参加をすることで、将来に亘って環境美化やごみ問題に関心を持ち続けることが、大人の課題であるように感じる。多くの人が高い意識を持てるよう、地域全体で参加の輪を広げていきたい。
	②秋のごみゼロ運動（11月10日） 参加者940名：昨年より44名増内、高校生以下の子供の参加者35名	
	③全市一斉水辺等美化活動（7月7日） （天候等により実施日が異なる常会あり） 参加者829名：昨年より113名増	区によって、区役員や環境委員が参加したり、常会毎に交代して参加したり、常会長が参加したりと様々である。上流側から昨年より参加者が増え、作業中の怪我や事故もなく、スムーズに実施できた。

令和元年度 環境委員会 事業報告

事業名等	実施内容	総括
	④時又灯ろう流しへの協力（8月16～17日） 参加者：各区環境委員長5名 時又区環境委員	17日朝7時、時又港へ集合し、時又灯ろう流しで発生したごみの分別作業に協力した。出店のごみと思われるものも多くあった。また、家庭から持ち込まれたと思われる使用済みの介護用おむつが大量に捨てられていた。外部からのごみを持ち込ませない警備体制の必要性を感じた。
	⑤ガードレール洗浄作業の実施 （隔年実施） （地域振興委員会と合同実施） 実施日 11月17日 場 所 鷺流峡（県道米川飯田線） 参加者 74名	隔年実施で、今年度は通算3回目となる鷺流峡のガードレール洗浄作業を実施。各委員会や、駄科区会、長野原区会、鷺流峡復活プロジェクト、市役所竜丘会の皆さんにご協力頂き、金たわしを使ってガードレールの汚れを落としました。安全委員のスムーズな交通整理により、事故や渋滞もなく作業に取り組めた。昨年まで、洗浄作業実施前までに地元区で下草刈りを行っていたが、今回は飯田建設事務所へ申し入れ、県が下草刈りを実施することになった。今後も関係各署との連携を強化し、地域の負担を減らしつつ自分たちの手で地域を守っていけるよう、持続可能な活動にしていきたい。
不法投棄対策事業	①不法投棄パトロール（各区正副委員長参加） 実施日 春：4月27日 秋：10月20日 （※重点区域環境美化推進事業に同実施内容を記載）	不法投棄パトロール員の先導により、上川路バイパス・上川路大畑地籍・新川さる橋・毛賀沢橋・臼井原・臼井川秘境等を中心にパトロールを行った。軽微な不法投棄ごみについては回収し、ごみが大量の場所については後日、竜丘クリーン運動の際に回収した。
	②竜丘クリーン運動 【春：5月26日】 駄科 毛賀沢橋付近ハンバ坂 上川路バイパス 【秋：11月10日】 駄科 新川さる橋周辺	春と秋のごみゼロ運動に合わせ、ごみの回収作業を実施。春は竜丘地区環境委員約60名で実施した。駄科ハンバ坂は、昔からのごみや落ち葉が蓄積していた。事故に留意しながら若い環境委員を中心に崖下へ下りてごみを回収した。上川路バイパスは、コンビニで購入後のポイ捨てごみが後を絶たない状況である。秋は不法投棄量が少なかったため、各区正副環境委員長等約10名で実施した。
啓発事業	①環境衛生強化週間 第1回（5月13日～5月26日） 第2回（10月28日～11月10日）	春と秋のごみゼロ運動前の2週間を強化週間として、各地区のごみ集積所へ、分別啓発用のぼり旗を設置している。必要に応じてのぼり旗やポールを配布した。
	②竜丘地区文化祭（11月9日・10日） ・竜丘環境委員会活動パネル 1枚展示 ・埋立・燃やすごみ組成調査パネル 1枚展示 ・ごみ分別変更点の案内パネル 1枚展示 ・スプレー缶を正しく処分パネル 1枚展示 ・パソコンリサイクル回収パネル 1枚展示 ・ごみ分別クイズ実施 （2日間で110名実施）	大ホールの一画で、活動に関する展示やごみ分別クイズを実施した。より多くの方に興味・関心をもってもらえるよう、クイズの正解数によって粗品を提供した。例年、子どもの来場者が多いため、クイズにルビをふったり、分かりやすい表現方法にしたり、年齢を問わずに挑戦していただけるように工夫した。環境委員に直接ごみの捨て方や分別方法などを訪ねる方が多くいた。環境委員自身をはじめ、見学していただいた住民が理解を深めるきっかけとなった。

令和元年度 環境委員会 事業報告

事業名等	実施内容	総括
研修事業	<p>①委員研修会 実施日 6月20日 参加者 50名</p> <p>1部 内容 『環境家計簿説明会』 講師 おひさま進歩エネルギー(株) 菅沼 氏、内山 氏</p> <p>(※1部については、省エネ推進事業に同実施内容を記載)</p> <p>2部 内容 『集積所・リサイクルステーションの管理、運営、指導について』 『ボランティア袋の使い方について』 講師 飯田市環境課廃棄物対策係 佐藤 氏、吉川 氏</p>	<p>1部では、竜丘地区基本構想の環境に配慮した取組から、環境家計簿で省エネ・省資源に取り組む活動の大切さを勉強した。</p> <p>毎年家計簿を続けていくことで、自分の家庭の状態を比較することができるので、取り組みを続けて家庭の中で役立てていきたい。まずは、環境委員が率先して環境家計簿に取り組み、地域全体に浸透させていきたい。</p> <p>2部では、日頃から環境委員が当番等を行っている集積所・リサイクルステーションについて、環境課職員より研修を受けた。また、ボランティア袋の使い方についても学んだ。今年の4月から委員が改選されたので、4月早々に研修会を行えばすぐに実践できたという反省があった。</p>
	<p>②視察研修(隔年事業) 実施日 6月7日 参加者 7名 視察先 ・千代グリーンバレー ・稲葉クリーンセンター ・前田産業(株)</p> <p>(※ごみ収集対策事業と重複する部分あり)</p>	<p>視察先の営業時間の都合上、平日昼間の実施となった。千代グリーンバレーでは委員自身が埋立ごみ袋の中身を確認する作業(組成調査)を行い、稲葉クリーンセンターと前田産業(株)ではごみ処理の行程を見学した。集積所に捨てたごみがどのように搬入・展開されているのかを学んだ。前田産業ではプラマークごみ袋の中身を開けて、人の手で不純物を取り除く作業をしていた。そのような作業を増やさないためにも、分別に注意する必要がある。</p>
省エネ推進事業	<p>家庭における環境家計簿の取り組みの推進 ※この取り組みはおひさま進歩エネルギー(株)様の協力を得て実施</p> <p>①環境家計簿説明会 実施日 6月20日 参加者 50名 講師 おひさま進歩エネルギー(株) 菅沼 氏、内山 氏</p>	<p>環境家計簿への取り組みは6年目を迎えた。平成30年度分の環境家計簿の提出があった全世帯へ、世帯ごとの結果をまとめた報告書を配布した。環境委員をはじめ、多くの世帯で「環境家計簿」に取り組むこと、また、2年以上継続して取り組むことを今後も目標とし、より精巧なデータの分析や、そこから発見できる改善点に着目していきたい。</p> <p>竜丘地区全体に取り組みを推進し、我が家の現状を「見える化」し、環境対策や家計節約等の意識を持てるように展開していきたい。</p>
	<p>②環境家計簿への周知のための活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 竜丘地域自治会ホームページへ、データ掲載 ・4月 組合回覧にて周知 	<p>地区住民に取り組みを広めるため、竜丘地域自治会のホームページから最新年度版の「環境家計簿」データをダウンロード出来るようにした。また、取り組みを呼びかける組合回覧を行った。</p>
重点区域環境美化推進事業 (旧 鷺流峡環境美化推進事業)	<p>①不法投棄パトロール(各区正副委員長参加) 実施日 春:4月27日 秋:10月20日</p>	<p>重点区域となっている鷺流峡、また平成31年3月から新たに重点区域に指定された時又中村線の不法投棄状況の確認の為にパトロールを実施した。</p>
	<p>②竹や樹木の間伐・枝打ち作業 ○委託業者:天竜川鷺流峡復活プロジェクト 区間:御万堂坂~湯の瀬エリア 期間:10月1日~3月31日</p>	<p>河川側の道路沿いは、長年竹や樹木の管理がされておらず、荒れた状態となっている。鷺流峡は平成26年度に飯田市の環境美化重点区域の指定を受け、市からの補助金を活用し、竹や樹木の間伐・枝打ちを実施している。急斜面で危険なため、業者へ作業委託している。</p>